

UIJターン就職促進

室蘭市と住まいのウチイケ

求職希望者など情報共有

【室蘭】室蘭市と住まいのウチイケは24日、UIJターン就職促進に関する包括連携協定を締結した。求職希望者などの情報を共有し、市への定住と企業の人材確保に役立つ。市役所で青山剛市長と内池秀光社長が協定書に調印した。

調印後に青山市市長は「若い人が定住するため働く場の確保は大切。室蘭は製造業のまちだが、幅広い受け皿があることを内外に広く発信したい」と述べた。

内池社長は、市が進めるゼロカーボンの取り組みに賛同し、「年間40棟を建



協定書を手にする青山市市長（左）と内池社長

てるが、ZEHが半数を占める。住宅からのCO₂排出は大きく、ぜひ独自の助成金を作ってほしい」と求めた。

市と市内企業の協定締結はメイセイエンジニアリング、内池建設、東海建設、栗林商会などに続き8社目となる。

奨学金返還を支援

人材確保、独自に制度創設

住まいのウチイケ

【室蘭】住まいのウチイケ（本社・室蘭）は2022年度、人材確保策の一環として奨学金返還

建物取引士、建設業経理士のいずれかの資格を取得した場合、支給期間を5年間に延長する。

同社は24日、室蘭市とUIJターン就職促進に関する包括連携協定を締結。協定締結作業を進める中で、市が20年度に創設した奨学金返還支援事業給付金の制度を知り、独自の制度を設けること

にした。内池秀光社長は「奨学金の返済に苦しんでいる人が多いと聞く。就職してから返済に悩まされることなく、仕事に集中してもらえようにした」と目的を説明する。

同社の社員数は23人。毎年1人を採用し、22年度も室蘭工大から採用する予定だ。

市の制度は市内に住み、市内の中小企業で働く正社員が対象。企業側が奨学金返還支援の制度を持っていることが要件

で、1人毎月5000円、年間6万円を上限に給付する。企業の制度との併用が前提で、例えば奨学生が月3万円を返還している場合は、企業が2万円、市が5000円の計2万5000円を支援する。

市産業振興課では「20年度は1社1人だった。年度末の補助申請となるため21年度はこれからだが、2社5人程度を見込んでいる。22年度はさらに増えるだろう」と話している。

奨学金を返済している新卒から5年以内の正社員を対象に毎月2万円の手当を3年間支給。さらに、この期間に2級建築士、宅地

独自の制度を設けること

を返済していることが要件

を返済していることが要件

を返済していることが要件